

HIV に関する患者さんの情報の研究 利用についてのお知らせ

この度国立病院機構東京医療センター総合内科では、「エイズ治療拠点病院における診療看護師の活動についての調査」を行うことになりました。

この研究の目的は、HIV 感染症の患者さんの結果を調べて、診療看護師介入前後の肝炎ワクチン、肺炎球菌ワクチン接種率がどのような影響を及ぼすかを明らかにすることです。

この研究のため、2017年4月1日より2019年3月末までに通院した方の診療録、血液データの調査を行います。対象となるのはHIVに対する治療を行った方で、調査項目は個人情報を含まない医学的な情報（抗体価：HA-IgG, HBsAg, HBsAb, A/B 肝炎ワクチン, 肺炎球菌ワクチン接種歴）と診療看護師の診療記録のみです。患者さんのお名前、住所などのプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ありませんのでご安心下さい。

調査したデータは、本研究の責任者のもとで厳重に管理されます。今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告されることがあります。

ご自身のデータを研究に利用することを承諾されない方は下記にご連絡下さい。その場合も、診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。

この件に関しましてご質問等がございましたらご遠慮なくお尋ね下さい。

2021年7月

研究責任者

東京医療センター 総合内科

中村 英樹（診療看護師）

連絡先 03-3411-0111(代表)